

- 1 だいまくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは二きようめに書き、文しよは三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくにぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

() 月 日 曜日

ほたるの池を守りたい

鹿屋市立田崎小学校 五年 吉松 慶伍

たくさん飛んでるね^Lの

うん、そうだね。今年^Lは去年より多いね^L。

あ、車の上に停ま^Lっているよ^L。

水の音に合おせて順序良く点めつするよ^Lうに、

黄緑色の小さな光があちらこちらで光^Lでい

る。今年の五月、祖父とぼくは近くの光同寺

池に行^Lった。たくさんのほたるが飛び交^Lて

いてきれいだ^Lった。

夏休みに親子会で光同寺池のガリガニとり

があ^Lった。このガリガニとりには目的が二つ

ある。一つは子供たちがとるのを楽しむため。

もう一つは、この池のほたるのよう虫を食べ

てしま^Lうザリガニをへらすためだ。去年たく

さんとつたので、今年^Lのほたるはふえていた

ぼくは、祖父と見たほたるを思い出しも^Lつと

たくさんほたるが育^Lつように気合を入れて親

子会^Lにのぞんだ。軍手をつけて、あみとバケ

ツを持^Lって、池の中に入^Lっていった。池の水

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいまくは、一きょうめに、学年・学校・組・名まえは二きょうめに書き、文しうは三きょうめの二はんめのマスから書きましょう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくごとくきょうをかえましょう。
- 3 詩や文は、だのきょうは三はんめのマスから書き、あたまをそらえましょう。

() 月 日 曜日

はあき水なので、すぐ冷た。ーしゅんブル
 ツシなつたけれど、ザブザブと進んだ。水草
 の周りをよく見ながら、ザリがニセさかした。
 ども、なかなか見づからなかつた。最初に友
 達が見つけた。あみの中に入つて、たザリが
 ニセほくが、手でつかまえて、バケツの中に入れ
 た。ぼくもバケツを置いて、本格的にさがし始
 めた。
 「あつ、そこにいるよ。」
 「ええ、どこ、あつ、いたいた。」

ザリがニは見つけた。つかまえて、さようとするし、
 するする、と動いて、すぐかくれてしま。う。
 「あれ、どこ行つたのかな。」
 水草が多いので、一回にげると、なかなか見づ
 けられな。い。また、砂やどろが、ま。り。上。が。つ。て
 見えなくなつてしま。う。だから、い。っ。たんは
 なれて、またさがさなく、てはいけな。い。の。で。時
 間がかか。る。つかまえて、バケツに入れよう。と
 する。と、はさまれる。こと。も。あ。つ。て。も。い。た
 か。つ。た。サンダルの中にとろろが入。い。つ。て。足が

- 4 、と。は、それぞれ一字にぞえて、一マスの中に書きましょう。
- 5 おはなしたとらるは、「」の中に入れてきょうをかえて、おはなしだけを書きましょう。

(不許複製)



- 1 だいきくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは一ぎようめに書き、文しよは三ぎようめの二はんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくごときようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三はんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

（ ）月 日 曜日

重くなるし、木の枝や草をかき分けなくは
 いけないので、うでもつかれてくる。それでも、
 三時間くらいお中でとり続けた。最後に五人
 なでとったザリガニを集めたら二百匹くらい
 もいた。これで、来年はもっとたく山のほ
 たるが育つてくれるだろう。たくさんのザリ
 ガニを見ながらぼくはうれしくなった。
 アメリカザリガニは、外国から持ちこまれ
 たもので、もともと住んでいる生物を食べて
 生態^{せいざい}をいさこおしてしまおうと聞いた。ぼくた
 ちの光同寺池をそんなことにはしたくない。
 光同寺池には、いろいろな生き物やほたるが
 住んでいて、とてもきれいな場所だ。だから、
 これからも、ザリガニとりに参加して、毎年
 ほたるが増えていくようにしていきたくと思
 う。そして、もっともきれいな場所にし
 て、地いきのみんながよるこぶとこるにしてい
 きたい。

- 4 ・と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)

